

(公表年月日) 令和5年5月8日

## 災害医療・救急医療支援講座の寄附について

(公表者) 国立大学法人宮崎大学  
学長 鮫島 浩

以下のとおり(地方公共団体)から寄附を受領しましたので公表します。

- 1 寄附者 小林市  
小林市長 宮原 義久
- 2 寄附の金額 25,000,000 円
- 3 寄附の内容 災害医療・救急医療支援講座の設置

- 4 寄附に至った経緯  
(寄附に至った経緯を記載)

小林市立病院は、地域災害拠点病院及び地域医療支援病院の機能を有し、さらには救急告示病院として第二次救急医療機関に指定された医療機関である。

近年、南海トラフ地震等の大規模災害の発生が高まる場所であるが、沿岸部の災害拠点病院等においては、その他数が被災することが想定され、内陸部に位置する当病院は沿岸部の主要医療機関及び都城北諸県医療圏の地域災害拠点病院と相互連携して、大規模災害に備えた医療体制を構築しておく必要がある。

また、西諸医療圏においては、国・県立病院、また大学病院等の高次救急医療を担う医療機関が設置されていない状況から、西諸地域における地域救急医療を支援する当病院の役割は非常に大きい。

このような状況から、災害医療・救急医療の寄附講座を開設することにより、医療従事者及び次世代を担う人材育成に大きく寄与できるとともに、大規模災害時の地域災害拠点病院の機能・役割の強化、さらには救急医療機関としての充実を図ることが可能となり、地域住民へ安心・安全な医療環境を提供することができる。